【ねがいましては】

平成２３年７月２５日　　*KYOWA SCHOOL*
第２４９号

「らしさで生きる」

夏休みが始まりました。

それぞれがそれぞれらしく生活することのできる時間がやってきました。と、私は思うのですが、あまり実感が湧きません。なぜかといえば、相変わらず子どもたちは学校へ行きます。目的は勉強ではありません。部活動、水泳部など、確かに勉強はしないのですが、学校へは行く・・・。本来の学校の勉強はストップするのですが、でも学校へは行く。

一方では、勉強させられに出かける子たちもいます。塾です。ここも塾なのですが、私のここでの目的は、普段失っている自分らしさを取り戻し、その自分で机に向かってもらうことです。『自分歩き』

せっかく小学校入学以前にすばらしいものを身につけながら、就学後、それが徐々に失われていったりします。

例えば「字」です。丁寧にゆっくりと書く。理想とされる書き方を身につけながら、徐々に雑な字へと変貌を遂げていきます。幼稚園や保育園では成績というものがなく、それぞれの個性を尊重する教育が可能です。子どもたちも成績がないことで自分の個性を思う存分発揮することができます。

何でも積極的に興味を示し、思うがまま動き回る子。ひとつのことにゆっくりと時間をかけ、楽しむ子。いつもニコニコと、友達と一緒にいる子。そのどれもが見ていて頼もしくあり、見ている側も癒されます。

小学校入学、子どもたちは一斉に戦場へと旅立っていきます。集団で同じことを教わる・・・それぞれが同じ受け取り方をするのはほぼ不可能です。そこに差が生じる。成績へと反映される。結果を見た母親は危機感を覚え始める。「このままでは」の動揺が、やがて我が子を今まで見つめたことのない目で見つめるようになる。感情が走る。

あっけに取られるのは子どもたちです。「そうか、１００点取ればいいんだ。」「そうか、叱られなければいいんだ。」「そうか・・・・。」自分なりの結論を出し始めます。

大切なことは、将来しっかりと社会の中で自立し、生き抜いていけるこころの力を身につけること。困難なことがあっても、それに耐え、歩き続けること。人と接し、人に温かいものを配りながら生きていくこと。やがてそれは愛情へと変化し、家族という大切な単位へと変化する。

子どもたちは将来自分がどのような人生を送るなど、微塵も考えません。当たり前です。この社会がどのようなものであるか知る由もありません。ですからすぐさま出てくる結論は、今さえよければそれで良い・・・。

私たち大人がしっかりと導かなければならないのは、温かい社会、皆が支えあいながらしあわせを共有することのできる社会を築き上げることだと思います。しかし現実は逆行しています。

子の成績にうろたえるお母さま方は、このままではわが子は落ちこぼれてしまうという危機感に、成績のみにターゲットを絞った機関に我が子を送り込みます。これはある意味、現在の社会を許容した行動になります。

今の、このギスギスした社会に歩調をあわせたものです。

難しいことなのかもしれませんが、子どもたちから根本的に理想の生き方や向かい方を身につけていけば、やがて社会全体が理想のものに変化していくかもしれません。その礎づくりに大人たちは勇気を持って挑んでいけたらと思います。生きようとする力を育むことが大人のつとめだと思います。

ここに「当たり前」を数個掲げます。

・字はていねいに書くのが当たり前・・・現実、テストなどの競争が字を雑にしていく。
・精一杯に向かう姿が美しい・・・現実、１００点さえ取れればそのあとは楽してよし。
・ものごとの良し悪しは自らが決めること・・・現実、叱られなければそれでよし。（ばれなければ悪いことができる。）
・学ぶとは、じっくりマイペースで味わうこと・・・現実、学びに勝ち負けがあることで、ただ勝てばよし。

次に当たり前になってしまった危険な当たり前。

・宿題は終わればいい。（やってあれば良いわけで、入ってなくてもＯＫ。）
・テストは合えばいい。（適当に選択して合っていても、それを喜んでしまう。）
・勉強は競争するもの。（他人を蹴散らしてもかまわない。）
・０点は悪くて、１００点は良い。（精一杯に考え抜いても０点は叱られる。）

さて、夏休みが始まりました。家族にとって自分は何なのだろう。友だちにとって自分は何だろう。この地球にとって自分は何なのだろう。生きるって何なのだろう。

自分の行き方を見つめること、それには多くの出会いが必要だと思います。右が分かると左が分かりますよね。男が分かると女が分かりますよね。辛い経験をするとしあわせが見えますよね。

この夏休み、多くの旅をなさってください。人々の生き様を眺めて下さい。願ってもないチャンスです。

自分らしさを胸はってエンジョイしてください。

他人に何言われても自分らしさで生きている人は、なぜか輝いて見えるんですねー！

前向き・・・いいでしょ！